

平成28年1月27日  
四国地方整備局  
土佐国道事務所

## 道路ができると暮らしが変わる ～道路整備に関するパネル展を開催します～

平成28年3月5日に一部区間の開通を予定している国道33号高知西バイパスに期待される効果をはじめ、高知県内の道路整備によるストック効果<sup>※</sup>や、道路の老朽化対策に関するパネル展を開催します。

この機会に、道路の役割について関心を持って頂ければと思います。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果のこと。

### 【概要】

開催日：平成28年2月1日（月）～平成28年2月14日（日）

※土日もご覧頂けます。

場 所：高知県庁1階 エントランスホール

展示物：①高知西バイパスに期待される効果に関するパネル  
②高知県内の道路整備によるストック効果に関するパネル  
③道路の老朽化対策に関するパネル

共 催：高知県

本施策は、「No.5圏域の連携による発展に向けた地域向上プロジェクト」、「No.6防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

お問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

四国地方整備局 土佐国道事務所 TEL：088-884-0359（代表）

副所長（改築）

おきうえ

沖上

しげと

茂人

（内線204）

○計画課長

きたがわ

北川

じゆん

順

（内線261）



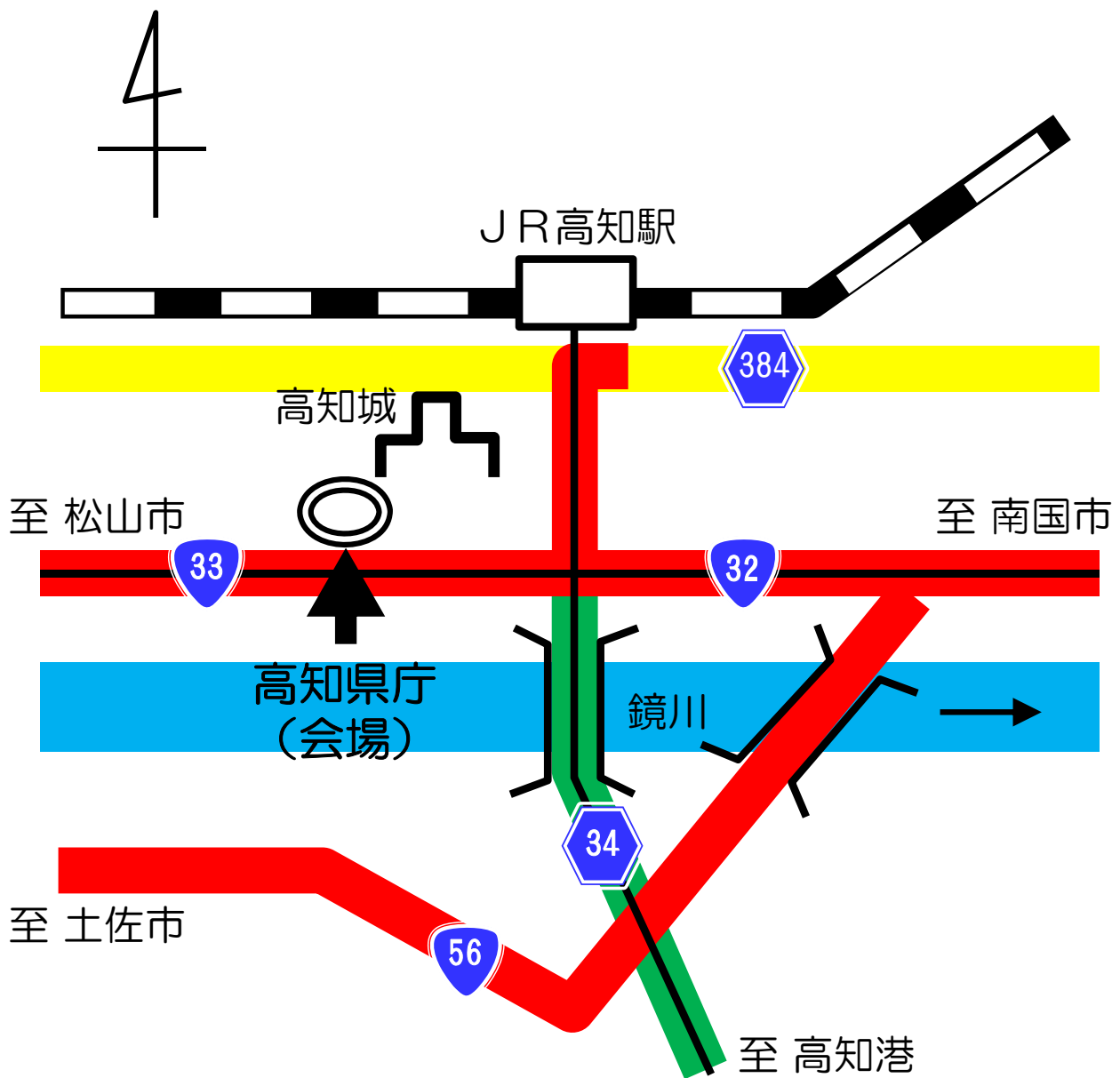
土佐国道事務所（とさこく）

●開催期間

平成28年2月1日(月)～平成28年2月14日(日)

●会場位置図

<高知県庁 1階エントランスホール>

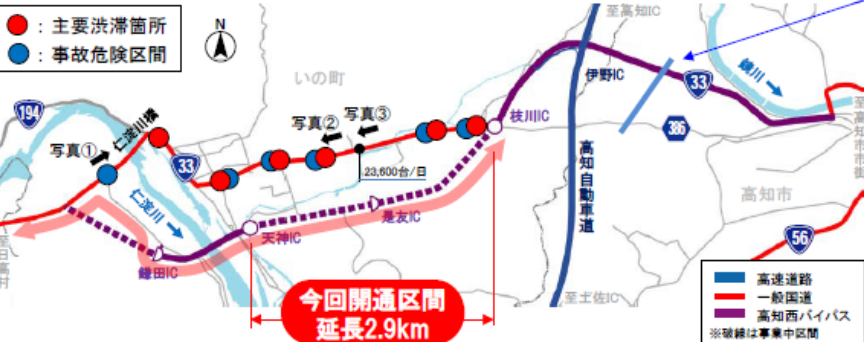


# ● 展示パネルの一例

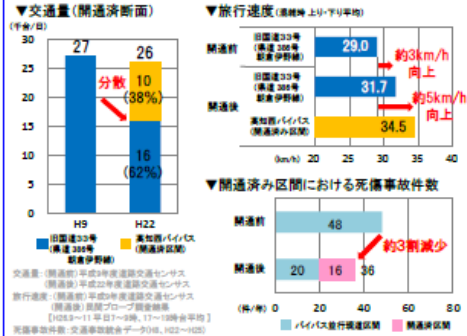
【今回の開通により期待される効果】 渋滞の緩和、交通事故の削減及び歩行者・自転車の安全・安心の向上

- ・いの町市街地では、交通の集中により慢性的な渋滞が発生し、それにより起因する交通事故も多発。また、道路幅員も狭く、歩行者や自転車が自動車と輻輳する区間もあり、危険な状態となっている。
- ・今回の開通により交通の分散が図られ、**渋滞の大幅な緩和、交通事故の削減及び歩行者や自転車利用者の安心・安全の向上**が期待されている。

## ＜いの町市街地の渋滞・交通事故等の状況＞



## 【部分開通区間の状況】



### ▼大型車のすれ違いが困難な仁淀川橋【写真①】



### ▼大型車と輻輳する自転車通学生【写真②】



### ▼国道33号の渋滞状況【写真③】



高知西バイパスの開通によって期待される効果

## ストック効果の発現事例

# 高知市

▲県内外からの観光客にぎわう「日曜市」

▲お店の人も笑顔がはなや

▲お土産が売れる行列ができるほど

### 四国横断自動車道×日曜市の魅力向上II 県外観光客の増加

●日曜市の魅力向上に向け、県外への情報発信の強化や大学生サポーターによる発着所案内所の開設

●日曜市の魅力向上に向け、県外への情報発信の強化や大学生サポーターによる発着所案内所の開設

●10年間で県外観光客が約2倍に

●4国横断自動車道の延伸や4車線化により、日曜市を訪れる県外観光客が10年間で26万人から49万人へ増加、未だ数千人の増加に留まっている

●交流人口圏の拡大

●高知市全体の経済波及効果は10年間で23%増加し、29億円の増加に上った

●日曜市からの観光客 段ノ上 和久さん

日曜市から車で約10分、外景しながらの観光ができました。高知市にはまだ観光客が少ないですね。

●日曜市の出店者 甲藤 百合子さん

日曜市に50年出店していますが、来店客が増えてきてから初めて県外のお客が増えました。

## ■ 道路の老朽化を防ぐ取組み（技術開発）

# 道路メンテナンス 橋を守る技術

仁淀川橋は国道33号の仁淀川に架かる橋で、地域の生活道路としての役割を担っています。写真は、生活道路を通行止めすることなく、ロープで移動しながら、橋梁の点検を行っている状況です。高所作業技術を有した点検技術者が、生活道路の確保と橋梁の安全を支えています。

高知県高知市  
国道33号 仁淀川橋  
管理者 土佐国道事務所

高知県道路メンテナンス会議

道路整備によるストック効果の発現事例

道路の老朽化対策